

第84号

議会だより

発行
広川町議会
編集
議会広報特別委員会

〒834-0115
福岡県八女郡
広川町大字新代1804-1
TEL0943-32-0109
FAX0943-32-5164

印刷 (株)佐賀印刷社



勇壮な馬簾回して一年の無事故・無病息災を願う(令和4年消防出初式)

12月定例会

12月7日~14日

- 令和4年新体制がスタート P6・7
- 町政を問う 5名が登壇 P8~10
- 安全・安心の水、広川町の負担金は? P11
- まち・ひと・しごと総合戦略(二期対策)とは? ... P12・13

議案の審議

承認（1件）

○一般会計補正予算専決処分の承認

子育て世帯への臨時特別給付金 1億7250万円
申請がいない世帯数 1324

申請が必要な世帯数 (見込み) 450

○新庁舎議場家具購入に係る契約の締結について
反対討論（江藤議員）

広川町議場家具購入額約4153万円は、贅沢。議場は使用率が低い施設で議場が立派でも住民の福祉が向上するものでもない。豪華な議場家具より住民の福祉向上こそ進めるべきである。

賛成9 反対3 可決

○広川町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例及び広川町消防団条例の一部改正について

提案理由
消防団員の処遇改善のため

可決

区分	年額
団長	232,000円
副団長	175,400円
分団長	136,300円
副分団長	103,400円
部長	70,500円
班長	39,700円
団員	36,500円
支援団員	12,000円

区分	金額
災害出動	1時間あたり 1,000円
行方不明者 捜索出動	
警戒出動	1回あたり 2,000円
訓練出動	半日あたり 4,500円

地域のヒーロー
消防団員

○広川町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

提案理由

天災などやむを得ない事情により、対面式の会議に代えて行うウェブ会議方式の規定を整備するための一部改正

可決

○広川町国民健康保険条例の一部改正について

提案理由
産科医療補償制度の保険金掛

可決

金の見直しによる改正。出産育

条例改正の概要

	出産育児一時金 (A)	加算額 (掛金分) (B)	出産育児一時金 (総額) (A) + (B)
現行	40万4,000円	1万6,000円	42万円
改正後	40万8,000円	1万2,000円	42万円

産科医療補償制度

分娩の際、生まれてきた子どもが重度脳性麻痺になった場合に補償金が支払われる民間の制度。病院等が加入する制度で、出産する人が掛金を負担する。

模保育施設との連携の確保を必要とするもの。(現在町内に対象の施設はない。)

○広川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

可決

提案理由

主な内容は、家庭的保育事業所は自園調理とされているが、新制度施行から経過措置期間5年間が10年間と延長された。(現在、町内に対象施設はない。)

○令和3年度広川町一般会計補正予算について

可決

追加予算 587万3千円
予算総額92億1938万4千円

提案理由

主なものは債務負担行為の補正と、企業版ふるさと納税による寄附金の補正。

Q コロナワクチン3回目接種について

ワクチン接種を危惧されておられる方もいる中、町としてワクチンの推奨はどのように考えるのか。

A 国からの日程等の説明がま

だない状態だが、高齢者から始まる住民接種及び小児接種に關しても慎重に対応しなければならぬ。オミクロン株が拡大しているが、住民の方には十分説明を行い、安全安心な個別接種体制づくりを目指していく。

Q マイナンバークード作成状況と今年度カード作成見込みについて。

A 11月末現在のマイナンバークードの取得率は37%、マイナンバーの付与がある予定なのでカード申請増加へ対応するための準備をしている。

Q 寄付金による医療機関へのコロナ支援金の使途は。

A コロナ支援金は、感染拡大防止の施策の経費に対して、町内の医療機関の規模に応じた金額を交付する。

Q 小中学校への感染拡大対策費は、どのように考えているか。

A 小中学校への感染拡大対策は、各小中学校に4台ずつ空気清浄機を設置予定。

○令和3年度国民健康保険特別会計補正予算について 可決
追加予算1538万円

予算総額26億8174万6千円
提案理由
システム整備費補助金の追加と高額療養費見込み額の増が主なもの。

○令和3年度広川町広川防災ダム管理特別会計補正予算について 可決
追加予算1215万円
予算総額4798万円

提案理由
災害の為に県営防災ダム事業負担金が増額したため

○令和3年度広川町水道事業会計補正予算について 可決
追加予算185万円
予算総額4億5430万円

提案理由
職員の人事異動に伴う補正額

○令和3年度広川町下水道事業会計補正予算について 可決
追加予算15万円
予算総額6億7183万8千円

提案理由
職員の人事異動に伴う補正額



広川町教育委員会委員
馬場 美香氏

命 ○広川町教育委員会委員の任
同意



広川町公平委員会委員
麻生登喜子氏

同意(2件)
○広川町公平委員会委員の選任
同意

賛否が分かれた議案

	山下	丸山幸	竹下	栗原	江藤	水落	丸山修	光益	池尻	原野	梅本	野田
新庁舎議場家具購入の契約	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○

○賛成 ×反対

全員協議会

◎広川町新庁舎議場家具購入の契約

- ・ 6社参加による入札
(朝倉市 カジワラ商事)
- ・ 入札額 4,153万1,600円

Q 結構な価格だが、町を象徴するような素材・デザインをしたのか。

A 以前説明した通りで、特に特徴はない。



◎まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗

(人口急減・超高齢化の課題対策)

Q 出生数についての分析はどのように行われたか。

A 要因が見えないが若年世代の女性人口減により、婚姻数も減っている。出産を選択する女性も減っている状況にある。

Q 新産業団地整備事業の遅れはコロナ感染の観点からとあるがどうか。正しい要因といえるか。

A 地元説明についてはコロナウイルス感染対策により、開催が出来なかった。造成計画に関しては、申請段階で国・県と調整中。記載不足だった。同様に地形測量業務委託料の予算も先に送る形となる。

Q 観光振興産業の中のサイクリングに対応した観光とは。また、イチヨウを活用したまちづくりの考えはないか。

A 広川町の観光所をめぐるサイクリングコースを検討中。イチヨウについては広川ダム上流の公園・展望台に定植を計画中。



広川中核工業団地



太原のイチヨウ



一條の前川原井せき

◎福岡県町村議会議長会 八女郡提出要望

国への要望

- ・ 国道3号バイパス整備促進

県への要望

- ・ 三潴上陽線歩道設置事業促進
- ・ 筑後川水系広川等の河川改修促進

総務産業常任委員会の協議

○一般会計補正予算

Q 人件費の補正の内容は。

A 10月で病気休職していた職員が退職となった。

また、10月より土木技術の職員を採用した。

Q 国際交流協会が解散する。

A 今後、町で独自で進めていくのか。

Q ボランティアセンターのボランティア登録をしてもらいながら、町が主導的にこの施策を推進していく。

○広川防災ダム補正予算

Q 従来の計画に追加の工事費か。

A 現在、県のほうで大規模な改修工事を行っている。

将来、放流管やバイパス管を改修するとき、コストを下げる目的で分岐管を通す。

○広川町消防団条例の一部改正

Q 消防団員の出勤手当が、1時間1000円、1日8000円。

A どうやって、出勤の把握をしていくのか。

分団長、副分団長に出勤状況を提出してもらう。

A 30分単位での切り上げで1時間単位で支給し、7時間45分を1日として、それを超えても実質出勤した時間分の報酬を支払う。



広川ダム工事の状況

厚生文教常任委員会の協議

○補正予算・その他議案等

Q 国民健康保険条例の一部改正で、産科医療補償制度の見直しに合わせ出産育児一時金の額が改正されるが、どのようなものか。具体的な影響はあるのか。

A 産科医療補償制度は生まれてきた子供が重度脳性麻痺になった場合に補償金が支払われる制度であり、今回その掛け金が引き下げられたため、その分出産一時金を増額するもの。総額自体は変わらないため、影響はない。

Q マイナンバーカード関連委託料の約300万円は高齢者の加入促進を図るものか。また、本町の加入率が37・4%ということであるが、他自治体と比べてどうか。

A 1月から協働推進課内に個人番号カード申請補助のための特設会場の設置を考えている。また、出張申請を行ったりするための人材派遣委託料で、1月末からは後期高齢者の方でカード未取得者へ、カード交付申請書を郵送する。これらに対応するため、1月より派遣職員4名を委託する。

カードの他の自治体の加入率

は、久留米市34・1%、筑後市が33・2%、八女市が39%、大木町が30・2%となっている。

Q 新型コロナウイルス感染拡大防止対策支援事業は、どのような内容なのか。

A (株)ロキテクノより1000万円の寄付があり、医療機関の方に支援が来ないかという趣旨であったため、町内の医療機関等に支援金を交付するもので、使途については、実績報告をして頂くようにしている。

Q 下広川保育園の整備補助金の減額は、事業の遅れということだが、どのような状況か。

A 事業が遅れているが、令和4年10月までには建物が出来て、その後、現保育園の解体が行われるので、スケジュール的には大きな遅れはないと考えている。

Q 教育費寄附金200万円の使途については教育委員会の判断なのか。電子黒板は何台なのか。

A 寄付された江口自動車工業、ヤヒメ教材の意向に添って使途を決めている。江口自動車工業は図書の購入、ヤヒメ教材は電子黒板の購入である。電子黒板は3〜4台を計画している。

制がスタート

◎委員長
○副委員長

総務産業常任委員会



竹下英治 栗原福裕 丸山幸弘
○山下茂 ◎光益良洋 梅本哲

厚生文教常任委員会



原野利男 池尻浩一 江藤美代子
○水落龍彦 ◎丸山修二 野田成幸

一般質問とは

※議員が一般事務に対し、その執行状況や将来の方針について、政策提言や行政課題等を執行者に直接たずめます。一人当たりの持ち時間は答弁を含め、60分です。議会だより掲載の原稿は、質問者本人が作成しています。

5人が質問

町政を問う!!



議会情報は
こちら



有害鳥獣対策

Q 鳥獣等被害の状況は

A 令和2年度農作物被害3600万円

池尻 県の第二種特定鳥獣管理計画の中で、市町村における捕獲を推進する。現在狩猟免許・わな猟免許の取得者はどのくらいか。

町長 免許登録数は延べ41件、八女猟友会広川支部14名。年々高齢化により人数等も減っている状況。

池尻 農作物被害防止のために電気柵やネットも補助等あるが、根本的に鳥獣を減らすためには捕獲の推進が必要と考える。補助や支援はどのようか。

町長 国の交付金100万円を捕獲協議会を通じ捕獲頭数に応じて狩猟捕獲者の方へ交付される。

池尻 狩猟免許の取得や維持費、登録料やわな、車輛等に費用がかかる。推進する上で、どのような補助を行っている地域がある。町ではどうか。

町長 現在のほうはいいが、検討していかねばならない。

池尻 野良猫等のペット被害はどうか。ペットへの虐待は1年以下の懲役または100万円以下

下の罰金といった厳しい罪とされていてもなかなか減らない。

町長 衛生班長会、町民ボランティアと共に、人と猫が快適に共生できる町づくりを推進していく。



池尻 浩一 議員



公共施設

Q 学校のプール及び公園の整備計画は

A 公共施設の最適な配置をする事が重要

光益 町内の各学校のプールにおいては、老朽化によって頻繁に修理・改修をしている。

町民プール建設も含め検討されたか。

教育長 各学校にプールを設置するより共同で利用できる統合したものが合理的だと判断している。

令和4年度において、町民プール・民間のスイミングスクールへ委託などを含め資料収集、調査を本格的に進め、方向性を見いだしたい。

光益 今後の町内の公園整備計画

Q 公共施設管理部署の設置の考えは

A 組織機構の研究を進めていく

光益 現在、公共施設は、それぞれ担当の課があり、そこで、運営・管理されている。修理・改修できる部署を設けたらどうか。

町長 施設の整備・修繕・更新などハード面、利用・運営など



光益 良洋 議員

面はあるのか。地域公園整備への補助は今後もしっていくか。

町長 補助事業の情報収集や財源確保の検討を進めていく。

住民の健康長寿の延伸の観点からも、各校区に運動公園等の整備が必要と考えている。

地域公園は、補助制度を設けて、今年で5年目になる。

来年度より廃止するが、今後サポートはしていく。



昭和36年に作られた老朽化した広川中のプール

ソフト面から効果・効率的な管理運営の方法について研究している。



江藤美代子 議員

購入補助

Q 加齢性難聴者に補聴器購入補助を

A 予防や関心を高める取り組みをする

江藤 「65歳を過ぎると二人一人が加齢性難聴である」「難聴は、認知症の最大の危険因子である」という報告がある。しかし、重度・高度の難聴でなければ購入のための公的補助は受けられない。「補聴器は高くても買えない」という声がある。日常生活、社会生活の質を落とさないためにも、認知症予防のためにも、補聴器購入の補助を求めたい。

町長 購入補助は考えていない。加齢性難聴は、血管の老化が原因と言われる。食事や生活習慣で悪化を予防することもできる。サロンなどで話題にするなどして、「年だから」とあきらめるのではなく、関心を高めよう、情報発信をする。

生理用品

Q 学校トイレに生理用品配備の進捗状況は

A 中学校のトイレに、試験的に配備している

学童保育所

Q 施設改善、指導員の待遇改善などの取り組みを

A 指定管理者と協議する

江藤 学童保育所の一人当たりの面積の最低基準を満たしていない施設がある。また、生活の場・遊びの場・静養の場の確保などできていないのではないかと。将来を見通して、施設の改善を検討すべき。コロナ禍の中でも休むことなく開所し、保護者や子どもたちの生活を支えていた。だいた指導員さんの待遇や配置人数についても改善を求めたい。

町長 将来は少子化で利用者は減少するのではないかとみている。指導員の待遇改善については、指定管理者と話し合いたい。

※そのほか住宅改修補助制度について質問しました。



中学校のトイレに配備された生理用品

下水道

Q 今後の下水道事業は

A 整備エリアの加入促進に取り組む



山下 茂 議員

加入促進に力を入れていきたいと考えています。加入促進の周知については、公式LINE等を活用して、コロナ禍の新たな周知方法にも取り組みたいと思っています。

山下 加入率や処理人口などの目標値や全体計画について伺う。

町長 下水道事業の経営状況の悪化は、企業会計に移行し、より鮮明になった。矢部川流域下水道3市1町も同じ様な状況。令和3年度から令和12年度までの下水道事業経営戦略を策定している。全体計画の目標値に向かって努力していきたいと考えている。

山下 目標に達成に向けて、加入率の向上が必要と思われるが、加入促進の体制と周知方法について伺う。

町長 積極的に個別訪問等を行い、促進を図っていききたい。特に、今年度工事エリアについても、早急なアプローチと下水道と合併浄化槽との比較等の説明、現地での相談など、積極的に促進を行っていく。特に、未接続者には補助金等、説明を行

山下 上下水道計画における人材育成や確保について伺う。

町長 上下水道部門の専門職の必要性和育成や確保には危惧している。5か年計画で、年2名の資格取得を予定し、人材の確保・育成を進めている。

山下 水洗便所等改造資金補助金について伺う。コロナ禍で物資不足のために工事の遅延やコスト高の話が聞くが、今後、補助金の対象期間の延長や金額の増額等考えはあるか。

町長 公平性並び歳出制御のため考えていない。経済状況等が悪化すれば検討するが、現状考えていない。

山下 推進対策としてモデル地区の策定等の考えはあるか。

町長 個人情報問題や区長・衛生班長への業務負担増など懸念される。悪臭問題や側溝の危険箇所等の問題は建設課などと協力して対応していきたいと考える。

町長 上下水道計画において人材育成や確保について伺う。

稲作営農

Q 稲作の現状は

どのような

A 大変に厳しい状況にある

竹下 過剰な貯蔵米やコロナ禍の影響による米消費量の更なる減少により、今年の生産者米価は特に厳しい状況にあるが、町としての対応は何かあるのか。

町長 国や県の米施策に準じて生産者と一体となり、ブランド力強化、販売取組、多用途米への転換等を通じ、県産米の価格の安定、需要に応じた米生産を推進する。



竹下 英治 議員

竹下 令和3年2月の福岡県都市計画審議会において、議案の本身が不十分として審議保留とされたことへの対応はなされているのか。

町長 広川町では地域の盛り上がりがないと指摘を受けたことへの対応として、八女市と協議し、両者が一緒になった

国道3号バイパス整備促進協議会を令和3年内に設立

予定である。

竹下 上広川小学校に係る指摘に関して、3号バイパスを小学校に当て

とを要望したのか、それとも、広川町長のいずれな



農振除外された水田

町長 国として総合的に勘案した結果、3号バイパスのルートが選定されたと聞いている。

竹下 整備促進協議会の設立も良いが、福岡県都市計画審議会結果の内容を真に見極めないとならば、今後の整備促進努力も徒労に終わる可能性があるのではないかと。

国道3号バイパス

Q 関係業務が止まっているが

A 整備促進に努力する

安心・安全な水の 広川の負担金は？

～議会視察報告～

2021年11月29日、全議員で小石原川ダム、
県南広域水道企業団荒木浄水場を視察しました。

小石原川ダムは2021年10月に本格運用を
始めたばかりです。筑後川流域、県南地域の「
水道水確保」などを目的とし、その水は筑後川に
注ぎます。

ダム建設の負担金など紹介します。



水源ダム建設に対する広川町の負担は？

	事業費	令和3年度 負担額	負担金残額 (令和4年度以降)	負担期間
小石原ダム	1億1,487万円	594万円	1億421万円	20年間 (令和2～21年度)
大山ダム	1億5,663万円	816万円	1億1,425万円	20年間 (平成28～令和17年度)
計	2億7,150万円	1,410万円	2億1,846万円	

企業団からの送水管増径に対する広川町の負担 (出資) は？

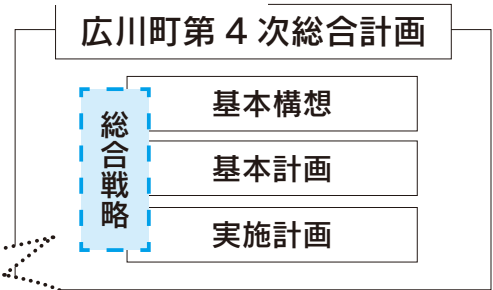
	事業費	令和3年度 負担額	負担金残額 (令和4年度以降)	負担期間
構成12団体総額	151億9,330万円	3億6,580万円	5億570万円	令和4年度終了
うち広川町分	7億3,630万円	1,400万円	1,670万円	

総合戦略とは？

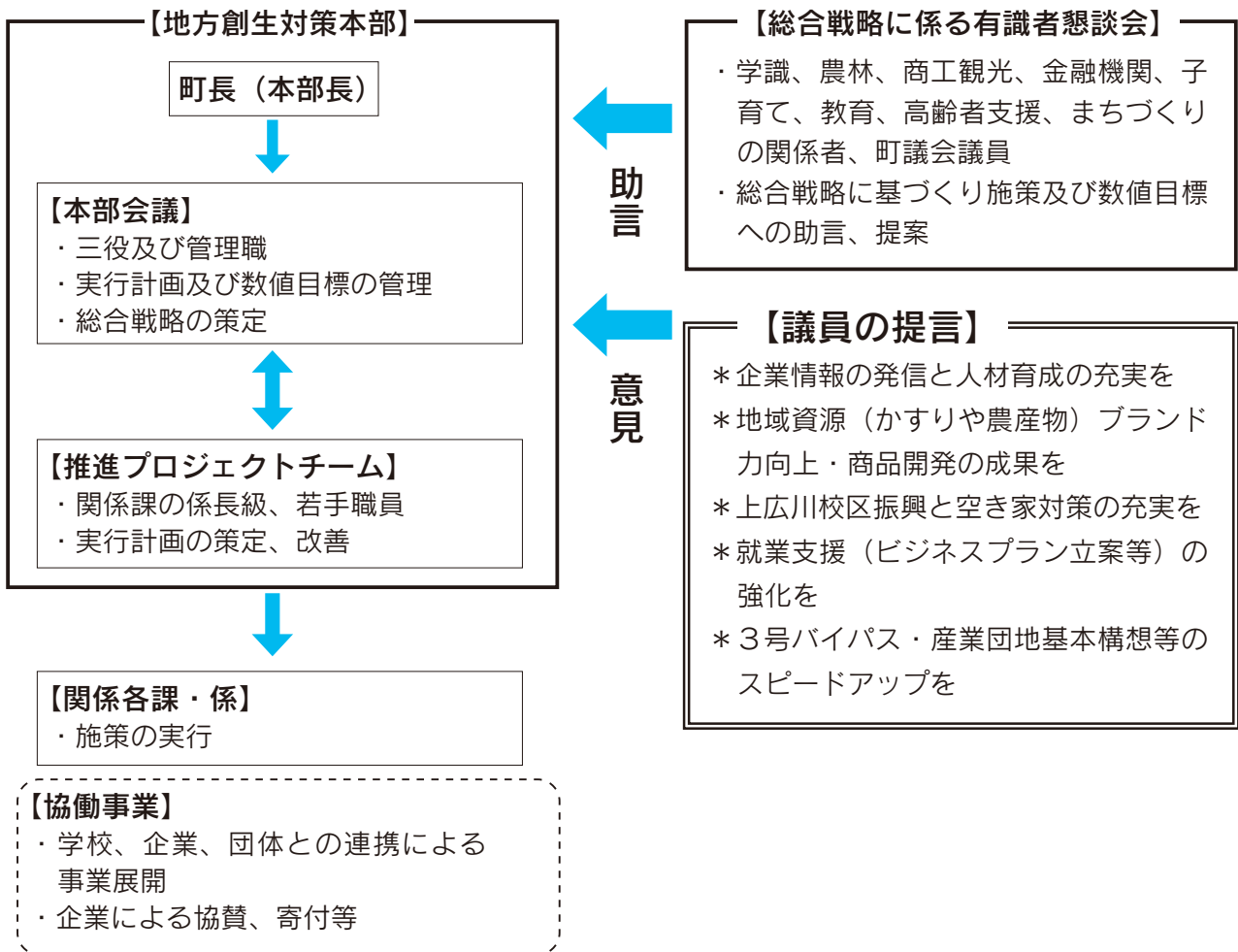
将来的な人口減少に対応するため、工業団地や豊かな農産物などの広川町の特性を生かしつつ、人口減少に歯止めをかけ、暮らし続けるまちとしていくための目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたもので、「広川町第4次総合計画」の重点プロジェクト

総合計画の中でも、目標人口の達成に向けて特に取り組むべき、施策事業をとりまとめたもの

イメージ図



総合戦略の進め方〔実施体制、評価・検証の体系〕



有識者懇談会座長 山下 永子 先生
(九州産業大学地域共創学部教授)

「広川町は地域特性を活かしたテーマを設定し、ターゲットを絞る形でユニークな事業を展開してきました。そろそろ取り組んできた場づくり・人づくりの芽を一気に開花させていく時期と考えます。そのカギを握るのは20代の若者です。様々な調査の結果を見ると、若い男女の居場所や出会いの場が少ないとの声が上がってきています。若い人たちがまちづくりの担い手になっていけるような仕掛けや仕組みづくりはこれからの課題と言えます。」



広川町人口ビジョンの実現に向けて進める事業

広川町まち・ひと・しごと創生総合戦略

第 1 期：5 年間（平成 27 年度～令和元年度）

【4つの基本目標】

- ①安定した雇用を創出する
- ②新しいひとの流れをつくる
- ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

【主要な成果】

- ①中核工業団地、新産業団地で働く町民の割合は上昇（平成 26 年 12% →令和元年 17%）
- ②広川町移住定住促進センター兼滞在交流施設 Orige を整備し、お試し居住制度を構築（令和元年度利用者年間 16 件）
- ③住民アンケートにおける「子育て環境の満足度」の 30 代の平均評定値が増加（平成 27 年▲ 0.09 →令和元年 + 0.037）
- ④上広川校区での若年世代向け住宅ローン利子補給金制度等により新規住宅取得者を確保（令和元年度住宅ローン利子補給金受給者 4 件）

第 2 期：5 年間（令和 2 年度～令和 6 年度）

【4つの基本目標と主な事業】

- ①地域資源の可能性を広げて、安心して働けるようにする
- ◆創業支援事業
 - ◆工業団地・新産業団地立地企業連携事業
 - ◆ひろかわブランド構築事業

- ②広川町とつながるひとを増やし、新しいひとの流れをつくる
- ◆観光振興事業
 - ◆移住定住促進事業
 - ◆ふるさと納税事業

SDGs の理念は共通

- ③結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ◆子育て支援事業
 - ◆子どもの遊び場運営事業
 - ◆きめ細やかな教育環境整備事業

- ④時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守ることができる魅力的な地域をつくる
- ◆国道 3 号バイパス及び道の駅等整備構想推進事業
 - ◆上広川校区振興事業



Kibiru (キビル)



Orige (オリゲ)



まち子のおにわ

人口ビジョン（2040 年に人口 19,000 人、2060 年でも人口 18,000 人）の実現

**一部事務組合議会
第3回定例会報告**

〔一部事務組合とは市町村が行う仕事の一部を複数の市町村が共同で行う目的で設立する団体〕

○八女地区消防組合

認定1・議案2を可決

認定（2年度一般会計決算）… 歳入15億2714万円余、歳出14億7883万円余で、差額4830万円余一部は構成市町へ返還（広川町895万円）

議案（3年度補正予算）… 歳入歳出の総額に296万円余を追加、予算総額を13億3193万円余とするもの。主な内容は前年度繰越金の追加と3年度負担金の減額、感染症対策用品の整備や八女東部消防署の防水工事

○八女中部衛生施設事務組合

議案は令和2年度一般会計予算継続費の精算報告、財産の無償譲渡、廃止条例の制定、条例の一部改正、令和3年度一般会計補正予算、令和2年度歳入歳出決算認定の6件を可決

継続費の精算報告は、汚泥再生処理センター建設経費を平成30年度から3カ年に渡り繰越し

て使用したもので35億1143万円余となるもの。

財産の無償譲渡については、組合が所有する土地の一部2971㎡を集落センター用地として、北田形町内会へ譲渡するもの。

廃止条例は汚泥再生処理センターの供用開始に伴い、八女中部衛生センター、関係条例を廃止するもの。

特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に係る条例の一部改正については、公害防止対策協議会に名称を改めるもの。

一般会計補正予算については、歳入歳出それぞれに4766万円を追加し、予算総額4億1797万円余とするもので歳出は、施設整備基金積立として4641万円、災害復旧費に125万円を補正するもの。

令和2年度歳入歳出決算については、歳入決算額34億4324万円余、歳出決算額31億4324万円余で差引額の4646万円余が決算剰金となる。

○八女西部広域事務組合

議案は、条例の一部改正、一般会計補正予算、公平委員会委員の選任同意の3件を可決

条例の一部改正は、火葬場使用条例の一部改正で、火葬場使用許可証の写しの証明書などの証明手数料が未整備であったため、改正するもの。

一般会計補正予算については、歳入歳出それぞれに1255万円余を増額し、予算総額を15億9818万円余とするもので、歳出は、総務費の積立金48万円余を清掃工場等建設基金へ、1251万円余を粗大ごみ処理施設等建設資金へ積み立てるもので、歳出財源は、令和2年度剰余金等を充てるもの。また、債務負担行為は広川最終処分場の閉鎖モニタリングの開始のための今後3ヶ年の委託料743万円余。

公平委員会委員の選任同意については、公平委員会委員の大津山氏が12月26日をもって任期満了となるため、後任として引き続き大津山氏を選任するもの。

○公立八女総合病院企業団

認定1件・議案3件を可決

認定（決算審査特別委員会報告）… 令和2年度病院事業及び介護老人保健施設（回寿苑）会計決算は、総合病院が5億2796万円の純損失、緑の病院が

1537万円余の純利益、回寿苑が1445万円の純利益で企業団全体では4億9813万円余の純損失。企業団を取り巻く環境は、人口減少、少子高齢化の進展及び新型コロナウイルス感染症による受診環境の変化で依然として厳しい状況にある。

議案（3年度補正予算の専決処分）新型コロナウイルス感染症補助金の一部（44万円余）を県に返還。（条例の一部改正）医師専門研修プログラムの実施に当たり、新たに専門研修管理委員会を設置及び特別職の職員で非常勤の者の費用弁償を行うもの。



公立八女総合病院企業団定例会

議会の動き

〈議会・委員会〉
協議会・調査など

令和3年11月～令和4年1月の行事

- 11月 1 広川町功労者表彰式
- 2 県南三町議会議員合同研修会
- 5 令和3年第3回八女地区消防組合議会定例会
- 〃 公立八女総合病院企業団議会第3回決算審査特別委員会
- 12 令和3年度第42回合同金婚式
- 17 福岡県町村議会議長会 広報研修会
- 〃 広川町消防委員会
- 19 令和3年第3回八女中部衛生施設事務組合議会定例会
- 〃 令和3年度第2回広川町まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者懇談会
- 21 広川町消防団秋の全団員訓練
- 29 小石原川ダム・県南広域水道企業団視察
- 12月 1 議会運営委員会
- 〃 議会全員協議会
- 7～14 令和3年第4回広川町議会定例会
- 7 第84号第1回「議会だより」編集委員会
- 9 議会全員協議会
- 10 総務産業常任委員会
- 13 厚生文教常任委員会
- 14 広川町議会議員互助会役員会
- 20 第84号第2回「議会だより」編集委員会
- 22 令和3年第3回公立八女総合病院企業団議会
- 23 令和3年第3回八女西部広域事務組合議会定例会
- 28 広川町消防団年末夜警
- 29 〃
- 1月 7 第84号第3回「議会だより」編集委員会
- 9 令和3年度広川町成人式
- 10 広川町消防出初式
- 11 議会運営委員会
- 〃 議会全員協議会
- 13 令和4年広川町議会議員互助会総会
- 〃 福岡県町村議会議長会 議員研修会
- 14 令和4年第1回広川町議会臨時会
- 〃 議会全員協議会
- 20 令和3年度第2回福岡県介護保険広域連合柳川・大木・広川支部運営委員会
- 〃 八女中部衛生施設事務組合例月出納検査



広川町表彰式



県南三町議会議員
合同研修会



広川町成人式

表紙の人

1月10日、広川町消防出初式で、今年で8回目となる馬簾回しが一年の無事故・無病息災を祈念し行われた。披露したのは、



各分団から選ばれた代表6名。

【第一分団 野中李成・第二分団 進雅史・第三分団 丸山和久・第四分団 黒田康裕・第五分団 野田誠也・第六分団 山下靖晃】

(敬省略)

天候に恵まれたとはいえ、真冬のふんどし姿、各選手の気合がほとばしる勇壮で、すばらしい演技だった。

選手に感想を聞いてみると、「最初に桶の水を頭からかぶるときは、全身が凍りついて無心になる。本番までに2〜3時間の練習を4日間行った。最初の練習から息がぴったりあって、仲良く楽しくできました。」とのことだった。馬簾回しの起源は、江戸時代に火事現場で火消し棒を振って



消火活動の目印にするにとともに、火消したちの士気を鼓舞する意図もあったらしい。今回の馬簾回しを見て私たちがも防災への意識を高め、災害に強いまちづくりを進めなければと、心新たにしたい。

お知らせ

傍聴席は、あなたをお待ちしています。

次の定例会は、令和4年3月8日開会の予定です。

日程については、HPをご覧ください。議会事務局にお尋ねください。

議会事務局直通
0943-32-0109

編集後記

子どもの声に耳を傾けて

コロナ禍、学校での過ごし方や行事、特別活動は子どもたちの意見は聞かず一方的に決められたという印象を受けた。

ある学校では、「運動会をやりたい」という子どもたちの願いについて議論を重ねた。その校長先生は「子どもたちが仲間に見えた」と言われた。大人の価値観で決めるのではなく、子どもの声を聞いていかに聴く、そして、話し合いを重ねる中で民主主義が子どもにも根付いていくと考える。

例えば、「校則」はどうだろう。本当にそこまで細かく規定する必要があるのか。子どもたちは、大人の価値観で考えた校則をそのまま受け入れていないか。「制服」はどうか。近隣の自治体では、子どもたちの声を聞き「制服の選択制」が進んでいる。

子どもたちは、声を聴いてもらうことで、本来持っている力を発揮する。そして、その力は、未来の広川町を創っていく。(江藤記)

議会広報調査特別委員会

- 委員長 梅本 哲
- 副委員長 江藤美代子
- 委員 山下 茂
- 委員 丸山 幸弘
- 委員 水落 龍彦
- 委員 池尻 浩一